

「碧南市人口ビジョン」及び「碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 概要版

◆策定の経緯

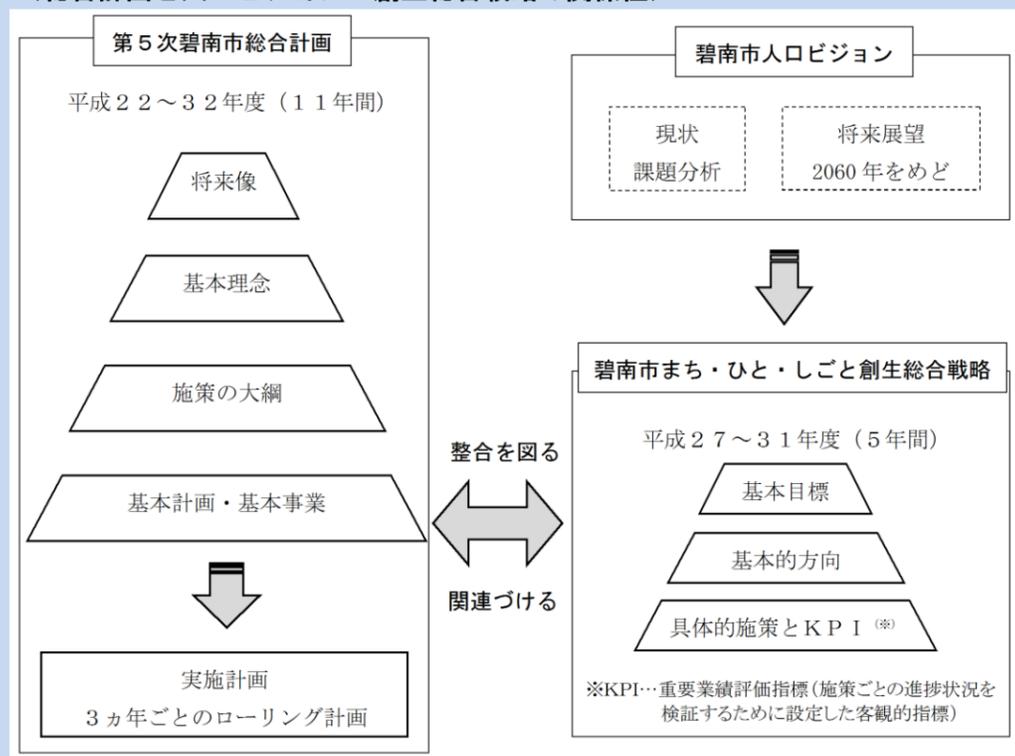
碧南市の人口は平成 27 (2015) 年 8 月末時点で 71,662 人であり、今後は国立社会保障・人口問題研究所の推計値によると、25 年後の平成 52 (2040) 年には 65,707 人まで減少すると推計されています。また、年齢 3 区分別人口の推移をみると、平成 17 (2005) 年を境に、生産年齢人口 (15 歳～64 歳) が減少するとともに、老年人口 (65 歳以上) が年少人口 (0 歳～14 歳) を上回り、平成 52 (2040) 年には老年人口の割合が 30.8%となると予測されています。

こうしたことから、人口減少・少子高齢化の問題は、本市においても例外ではなく、克服すべき問題として捉え、国が定めた「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、「人口ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下「総合戦略等」という。)を策定することとしました。

策定に当たっては、国の長期ビジョン及び国の総合戦略、そして、愛知県の人口ビジョン及び総合戦略を勘案しつつ、現在も実施している「進化し続けるための種まき」に関する施策展開を基軸にして、策定を進めることとします。

今回策定する総合戦略等は、安定した雇用の創出や結婚・出産・子育て施策等による人口減少の克服や少子高齢化への的確な対応を目指して策定するものです。一方、市の行政運営やまちづくりの指針を示し、市の総合的な振興・発展を目的として策定されている市の総合計画とはそれぞれ目的や含まれる政策の範囲が必ずしも同じではないことから、総合戦略等の策定にあたっては、総合計画と整合を図り、総合計画を補強・補完するものとして位置づけることとします。

<総合計画と人口ビジョン・創生総合戦略の関係性>



◆「碧南市人口ビジョン」

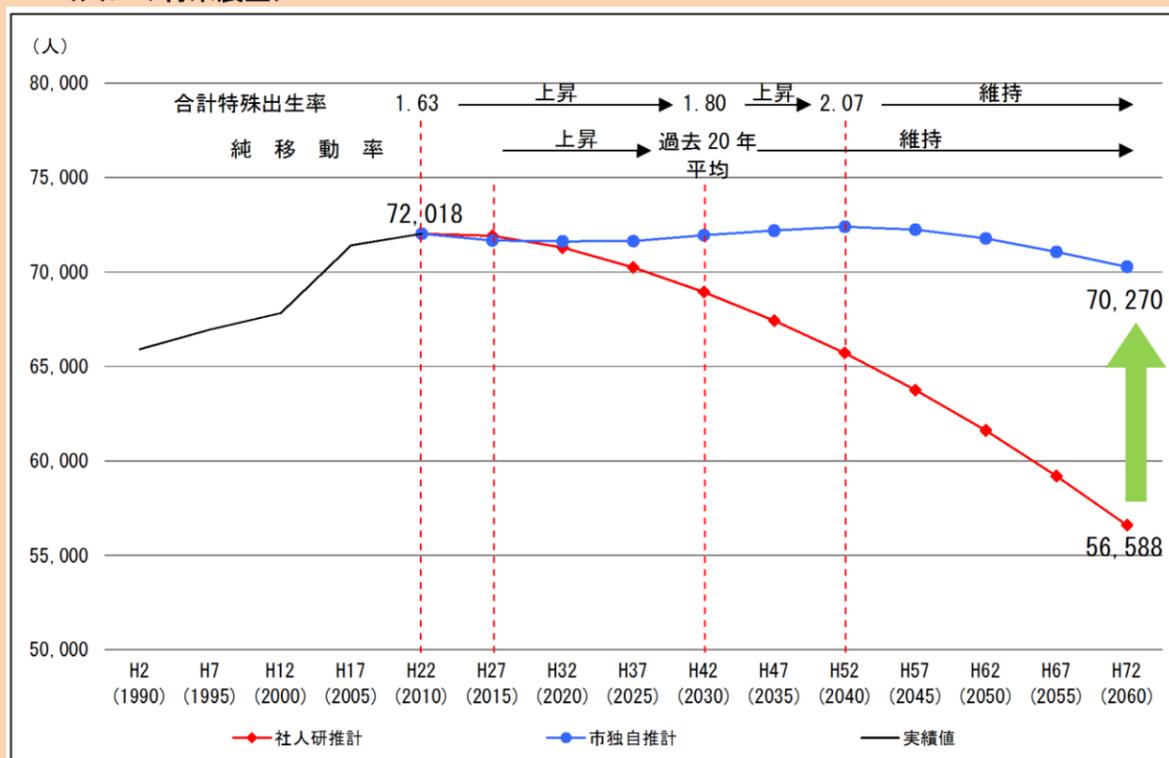
碧南市の人口は、平成 20 (2008) 年をピークに減少傾向となっています。人口増加のピーク前の平成 13 (2001) 年から平成 20 (2008) 年にかけて、土地区画整理事業等の宅地開発などにより、人口の伸び率が急伸し、転入超過 (社会増) となっていました。その後のリーマンショックの影響などで特に外国人の転出が続いたことにより人口が減少し、転出超過の傾向となっています。

人口の「移動」について、転入元、転出先の傾向としては、西尾市や安城市など同じ西三河地域の近隣自治体への転入転出が比較的多くなっています。なお、転入転出ともに、「仕事」を理由に移動する人が多く、「仕事」の他では、20 歳代後半から 30 歳代にかけての「結婚」といった理由で市外へ転出する人も多くなっています。また、通勤や通学による流入流出についても、転入転出と同様に、同じ西三河地域の近隣自治体への流入流出が比較的多くなっています。

一方、「出生」について、合計特殊出生率は、全国平均や県平均よりは高いものの、近隣自治体が近年増加傾向となっている中でほぼ横ばいとなっているとともに、出生数についても減少傾向にあります。

これらのことを踏まえ、人口の減少傾向に歯止めをかけ、活力あるまちを維持するために、「碧南市人口ビジョン」において、長期的には平成 72 (2060) 年の人口で 70,000 人維持という将来目標を設定しました。

<人口の将来展望>



※社人研：国立社会保障・人口問題研究所

「碧南市人口ビジョン」及び「碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 概要版

◆「碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、本市の現状及び人口ビジョンを踏まえ、安定した雇用の創出、結婚・出産・子育て環境の充実など、人口減少に関する課題に的確に対応するために、以下の4つの基本目標を掲げ、これらを実現するための具体的施策に取り組んでいきます。

基本目標1：しごとづくり

本市の特徴でもある製造業を中心とした産業集積を活かし、革新的な技術の創出や成長産業への展開を促進するとともに、衣浦港を拠点とした物流機能を強化することで、生産性・利便性の向上を図ります。また、農水産業の競争力の強化を進め、幅広く質の高い「しごと」を創出し、安定的な雇用を生み出します。



基本目標2：新しい人の流れづくり

本市が持つ独自の魅力を磨き上げ、効果的に発信し、認知度を高めます。それにより、人を呼び込む流れをつくり出します。



基本目標3：結婚・出産・子育て環境づくり

若い世代や女性が輝ける場の拡大を図るとともに、結婚の意志がある若者をサポートし、夫婦が希望する時期に安心して子どもを産み、育てることができる環境をつくり出します。



基本目標4：元気あふれる地域づくり

誰もが健康で安心して暮らせる環境づくりを進めるとともに、地域の人材を活かし、元気あふれる地域づくりを進めます。また、近隣市等との広域事業を推進し、市民の利便性の向上を目指します。



具体的な施策については、その基本的な考え方と主な事業や取組みに併せて、取組みの進捗を評価し、的確な進行管理を図るため、施策の項目ごとに重要業績評価指標（KPI：Key Performance Indicator の略）を設定しています。

なお、基本目標の数値目標及び重要業績評価指標（KPI）の目標値は、原則として、総合戦略の計画期間終了年度である平成31年度としております。また、基準値においては、現状値を記載しており、原則として、平成26年度の数値を記載しています。

【基本目標1】しごとづくり

| 数値目標 | 基準値 | 目標値 |
|--------------|----------------------|----------------------|
| 就業者数(時点) | 38,493人 (H22年10月) | 38,500人 (H32年10月) |
| 新規起業・開業数(年間) | 67社 (H26年度) | 70社 (H31年度) |

（施策の展開）

企業留致・誘致、販路拡大、産業防災力の強化、産業基盤の充実

（主な重要業績評価指標：KPI）

企業訪問数、支援した企業が新たに獲得した取引先件数、避難マニュアル作成完了エリアなど

【基本目標2】新しい人の流れづくり

| 数値目標 | 基準値 | 目標値 |
|------------|-----------------------|-----------------------|
| 転入超過数(年間) | -17人 (H26年度) | 70人 (H31年度) |
| 観光入込客数(年間) | 2,481,459人 (H26年度) | 2,500,000人 (H31年度) |

（施策の展開）

碧南ブランド力の向上、観光強化、移住・定住の促進、住環境の整備

（主な重要業績評価指標：KPI）

ふるさと寄附金パートナー企業数、市内宿泊者数、新築家屋課税戸数 など

【基本目標3】結婚・出産・子育て環境づくり

| 数値目標 | 基準値 | 目標値 |
|---------|--------------------|-------------------|
| 婚姻数(年間) | 336組 (H26年) | 370組 (H31年) |
| 出生数(年間) | 591人 (H26年) | 634人 (H31年) |
| 合計特殊出生率 | 1.63 (H20-H24年) | H42年までに 1.8を目標 |

（施策の展開）

結婚・出産・子育て環境の整備、子どもが学ぶ環境の充実

（主な重要業績評価指標：KPI）

支援した交流イベント等の開催数、不妊治療助成件数、学校生活の満足度 など

【基本目標4】元気あふれる地域づくり

| 数値目標 | 基準値 | 目標値 |
|--------------|------------------|------------------|
| 保健・医療に関する満足度 | 70.4% (H26年度) | 75.0% (H31年度) |
| 市民協働に関する満足度 | 62.0% (H26年度) | 70.0% (H31年度) |
| スポーツに関する満足度 | 67.3% (H26年度) | 80.0% (H31年度) |

（施策の展開）

健康寿命の延伸、スポーツの振興、市民協働の推進、広域連携の推進

（主な重要業績評価指標：KPI）

老人クラブ会員数、スポーツ施設の満足度、ボランティア登録団体数 など